

第 4 回 道の駅整備推進有識者会議 会議記録

議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 意見交換</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 道の駅基本計画（素案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) パブリックコメント・市民説明会について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>
日時	平成27年12月2日（水） 15時00分～16時30分
場所	市民ギャラリー 会議室A・B
出席者氏名	<p>委員：10名</p> <p>山口委員、田中委員代理、大川委員、北村委員、栗田委員、後藤委員、小川委員、永野委員、千葉委員、梅津委員代理</p> <p>道の駅整備推進アドバイザー：3名</p> <p style="padding-left: 20px;">斉藤アドバイザー、中島アドバイザー、楓アドバイザー</p> <p>オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所 ・神奈川県県土整備局道路部道路企画課・道路管理課 ・神奈川県警察交通規制課 ・関東「道の駅」連絡会事務局 <p>事務局</p> <p>産業振興課 横溝道の駅整備推進担当課長、須田担当主査、島崎主任、松村主任</p>
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	3名
非公開の理由	

(会議の概要)

2 意見交換

(1) 道の駅基本計画(案)について

資料2について事務局より説明

山口委員	先日、神奈川県内で3番目の道の駅がオープンしたが、その様子を教えてほしい。
神奈川県道路企画課	道の駅「清川」は、既存施設をバリアフリー改修するなどして、新たに道の駅の登録をされたものである。オープン当日のレジ通過者は700人と聞いており、家族連れなどもあるため、実際には2000人程度の来場と聞いている。既存施設を改修したものであるため、施設が狭い印象であった。
永野委員	道の駅の整備敷地の範囲、面積が記載されているが、これで決定なのか、内定なのか確認したい。
事務局	事務局としては、必要な導入機能を積み上げていくと、この面積が必要と整理したところである。今後、パブリックコメントなど様々な意見をいただきながら、決定していくことになるため、現段階で、決定しているわけではない。
永野委員	内定ということによいのか。それであれば、地元の説明していきたい。
事務局	事務局として、必要とした面積である。今後、地元説明会に伺いたいと考えている。
小川委員	有識者会議に出ている人で、現地の状況をみんな同じように把握しているわけではないので、実際に現地をみんなで見るとどうかと提案したい。
事務局	現時点では、想定されていないが、日程やマイクロバスの手配など調整し、行えるように準備したい。
千葉委員	情報発信の中に道路情報や観光情報といった記載はあるが、文化の発信という表現も加えてほしい。 施設イメージをわかりやすく伝えるようにパースにトイレや情報発信施設といった表現を加えてはどうか。
事務局	文化の発信については、前回の有識者会議でも指摘されていた事項なので、修正する。 施設イメージをどこまで示すか、事務局内でも議論したところですが、もう少し分かりやすいように示す。
山口委員	事業費の記載があるが、その減価償却など収支の計画はどうか。 市の事業にとっても赤字などにならないように考えていく必要がある。年間来場者と売上予測されている中で運営費は十分なのか。

事務局	運営計画と合わせ、検討中である。現在の売上予測は、道路交通量からの予測であり、目標値ではない。今後、収支計画については整理を進める。年間維持管理などの収支については今後整理する。この施設は、基本的には黒字になるようにし、行政負担がないように自主的に、維持管理含め独立で採算を取れるように計画できればと考えており、状況によっては収益の一部を市へ納めていただくことを考えている。
山口委員	基本的には独立採算で考えているということですね。 この集客予測は他と比べて集客が多いのか。
事務局	近隣、周辺の集客についてどうなのか整理しお示しさせていただく。他の事例と比べても前面道路の交通量が多くなっていると考えている。
山口委員	概算工事費の金額を踏まえて、簡単に計算しても12、13年は償却にかかると思われるので、そういった視点でも整理してほしい。
永野委員	盛土などの造成はどうなるのか。どの程度の盛土高になるのか。
事務局	農地部分の低いところでは海拔1m程度となっており、道路高さは3～4mということから道路と同じような高さまでの盛土は考えている。
永野委員	3mも盛土をすると隣接する農地に対しての日影等の影響についても考慮してほしい。
事務局	ご指摘のとおり、東側の農地への影響についても認識している。今後、丁寧にご説明させていただくように考えている。
田中委員代理	周遊サービスと記載されているレンタサイクルやバスの記載が分かりにくいので説明してほしい。
事務局	素案の中の表現は分かりにくくなっているため表記を修正する。道の駅に大型バスで来場された方の乗降場所場所も含んでいる。
千葉委員	確認事項ですが、道の駅の敷地内の中に周遊バスを走らせるのか。それは、必要なことなのか。
事務局	周遊サービスの意図としては、レンタサイクルのように市内観光向けや市内巡回するバスなどの停留場所として考えている。
千葉委員	お金を取ってバスを走らせるのか。
事務局	現在、路線バスがこの地域まで走っていない中で、今後検討していきたいと考えている。 市の施設として、道の駅、漁港などをつなぐようなルート延長も考えられ、現段階ではそのためのスペースを確保する想定としている。

北村委員	コミュニティバスは来るのか。それであれば、漁港などをつなげ、えぼし岩の周遊観光と連携できるとよい。
事務局	市の施設として、道の駅、漁港などをつなぐようにそれぞれ連携して、それぞれににぎわいを持つように考えている。コミュニティバスなどルート延長を検討しているが、現時点では決まっていない。
斉藤アドバイザー	長期的な計画として、導入できるように検討してほしい。
永野委員	バスの関係ですがスポーツ公園のときにも要望を出しているので、道の駅と合わせ検討してほしい。
事務局	すぐに実現は難しいと思うが、スポーツ公園と合わせ検討していく。
大川委員	基本方針に販路の拡大とあるが、農産物、海産物だけでなく、工芸品や加工品なども生産者の販路拡大として組み込んでほしい。
事務局	生産者さんの意図は農産物だけでなく、おみやげ、物販、飲食など各関係団体等と協議しながら進めて行きたい。
千葉委員	防災の考えについて、道の駅は避難所になることはないということで、避難はスポーツ公園と考えて、道の駅についてはいろんな備蓄をするという考えでよいか。
事務局	市民の避難場所としては考えていないが、施設利用者向けに備蓄は必要と考え、整備を予定している。
栗田委員	隣接するガソリンスタンドとの連携はどうなっているのか。
事務局	隣接していることから、連携できれば好ましいが、あくまで事業者との個別の協議の上での話となる。ガソリンスタンド事業者とは道の駅の計画もあるので挨拶はしており、今後、協議する必要がある。
山口委員	防災について3.11の震災以降、震災時の対応などから道の駅は防災を求められていると聞いている。幹線道路であることから広域的な考えはないのか。
事務局	防災機能については、今後も考えていかなければいけないと考えている。道路管理者を含めて、検討していく。
田中委員	災害時などなにかあって車が動かなくなると仮眠するということもあるので、そういったことも考える必要があるのではないかな。
事務局	スポーツ公園、しおさい広場(※)、柳島キャンプ場を市が管理しているので、道の駅と機能分担をおこない、必要な整備内容について今後一体で協議を進めていく。 (※)平成28年度より、管理を県から市へ移管予定。

永野委員	道の駅の建物の屋根を高くする等の対策必要ではないか。他施設との連携についても検討しておく必要がある。
事務局	津波等の被害を考えた場合、一時避難ということで避難することができるようにする必要はあると考えている。
斉藤アドバイザー	避難所ではなくても、人が集まっているところなので、そういった対策は必要である。
千葉委員	神奈川県ではH27年3月に1000年に1度の地震を想定したハザードマップを公開しており、ここについてはそんなに浸水しないことになっており、予算との関係からも、さらに避難施設を作るという対策は過剰ではないか。
事務局	ハザードマップも確認しながら、説明できるように整理する。
斉藤アドバイザー	想定外というものもあるので、より安全な施設というのは、可能な限り整備を検討してほしい。
山口委員	電気自動車の充電スペースは、1台、2台だけでなく、数多く整備してほしい。
栗田委員	多目的スペースや交流広場には、イベント時にスムーズに利用できたり飲食店がなるべく出店しやすいように、電気・ガス・水道などを用意しておいてほしいが、どのように考えているのか。
事務局	細かな部分については、今後、詳細につめていく予定である。今後、アイデアやアドバイスについてはご意見いただければ検討していきたいと考えている。
斉藤アドバイザー	暴走族対策などは、どうなっているのか。
事務局	夜間等の対策として必要となる駐車場の区域を狭めることができるかなど検討しているところである。地域住民の方にも配慮しつつ進めていきたいと考えている。
斉藤アドバイザー	国道134号沿いの道の駅ということで、よく検討していきたい。

(2) パブリックコメントについて

パブリックコメント、市民説明会、地元説明会の予定について事務局より説明

山口委員	本日話に出た詳細な施設の設計プランは、いつ誰がやるのか。
事務局	現在は、基本計画についてご意見を頂いている。今後、建築計画プランを検討していくものである。来年度以降、アドバイザーを含め、専門家を交えて検討する。
千葉委員	現在、示されている素案は、言葉が難しく、市民に分かりやすいように、見てもらいたいところを概要版みたいな形で作成するのがよい。
斉藤アドバイザー	素案を渡されても読む気になれないので、何のためにパブリック

	コメントをするのかを考えて、もっとわかりやすいものを示してほしい。概要版もぜひ作成してほしい。
事務局	現在の素案を元にした本編と概要版を示せるようにする。

3 その他

中島アドバイザー	<p>本日の議論の間に、思いが強くなっていると感じる。バススペースの話からコミュニティバスが必要であるとか、スポーツ公園の話など、行政が行う事業であることから、市の持っている資源を利用できるのが強みである。既存の観光ルートと重複させるなど検討できる。</p> <p>防災については色々な考えがあり、他の道の駅の事例では自家発電機や水の確保をしつつ、災害時に下水管の上に上屋を設置するマンホールトイレなどの対策もしている。防災庁舎の手すりにつかまっていたが、流されてしまったという話もある中で、安全な手すりなど予算が限られている中でもできるだけの対策をしてほしい。</p> <p>パブリックコメントについては、先ほどの話のように市民に伝わるようなものとしてもらいたい。道の駅をやるんだということを市民に伝えることが大事である。小学生でも意見が言えるようなわかりやすいものとしてもらいたい。</p>
楓アドバイザー	<p>コンセプトについて、茅ヶ崎ならではのものになるようにしてもらいたい。今のままでは、地名を変えればどこの道の駅でも使ってしまうような気がする。しまなみ街道はサイクリングポートを造るといったものや、インバウンドという記載もあるので、ハワイとの姉妹都市という利点を生かしたものでも良いと思う。茅ヶ崎の特徴とは何かを青年会議所等で考えてもらってもよいと思う。</p> <p>有識者会議の中に女性もいなかったこともあるが、パブリックコメントでも女性の方の意見を吸い上げられるような機会となるようにしてほしい。市民の方向けに現場見学会を実施してもよいと思う。</p>

以上